

多言語マップと観光ガイドで伝える男木島の魅力

代表者 木村 萌々花 （経済学部経済学科2年）

1. 目的と概要

本プロジェクトは、男木島を訪れる観光客に対して、観光スポットや島の魅力を分かりやすく伝え、より満足度の高い観光体験につなげることを目的としている。そのために、「多言語マップの作成」と「観光マップを活用したガイドツアーの実施」を軸とし、活動を行った。

これらの取り組みを行うことになった背景には、昨年度に作成した男木島観光マップが、男木島観光協会や地域の方々から好評をいただいたことがある。一方で、日本語版と英語版のみでは、近年増加している英語圏以外の外国人観光客に十分対応できていないという課題も見えてきた。実際に活動する中で、東アジア圏からの観光客が多いことを実感しており、中国語での案内を求められる場面も少なくなかった。

また、SNSを通じて島の魅力を発信する中で、「男木島の歴史や背景をもっと知りたい」「現在の暮らしについても知りたい」といった声をいただく機会が増えていった。しかし、島内では観光ガイドの担い手が不足しており、そうしたニーズに十分応えきれていない現状があった。そこで、私たち自身がガイドとして活動することで、より深く魅力を伝えられるのではないかと考え、ガイドツアーの実施に至った。

さらに、2025年には瀬戸内国際芸術祭の開催がされ、国内外から多くの観光客が訪れることが予想されていた。この機会に向けて、受け入れ体制を整えることが重要であると考え、本プロジェクトに取り組んだ。

2. 実施期間（実施日）

令和7年7月1日から 令和8年3月1日まで

3. 成果の内容及びその分析・評価等

多言語マップについては、日本語版と英語版の修正・増刷に加え、新たに韓国語版と中国語版の作成を行った。既存のマップについても内容を見直し、より正確で分かりやすい表現になるよう改善を重ねた。特に、男木島観光協会に加盟している店舗情報を中心に整理することで、観光客が実際に利用しやすいマップになるよう意識した。今年度は加盟店舗に変更があったため、それらを反映し、最新の情報に更新している。

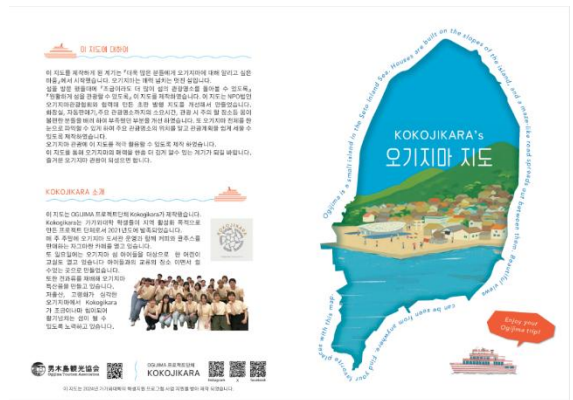
また、瀬戸内国際芸術祭の影響もあり、前年度に配布したマップの在庫が不足する状況が見られた。そのため、追加設置の要望にも対応し、より多くの観光客に行き渡るよう工夫した。中国語版の制作にあたっては、アイパル香川様の協力を得て翻訳を行い、観光協会許からの許可のもと制作を進めた。設置場所は島内外合わせて約20か所であ

り、高松市内の公共施設や男木島内の飲食店など、観光客の動きに合わせて配置した。「見やすくて分かりやすい」「設置してすぐになくなるほど需要がある」といった声もいただいております、一定の成果を得ることができた。

ガイドツアーについては、専用サイトの開設や申込フォームの作成、自動返信メールの設定、ガイド台本や資料の作成など、段階的に準備を進めた。内容については観光協会に確認をいただきながら調整を行い、より実践的なものとなるよう工夫した。また、8月から9月、1月から3月にかけて実地研修を行い、メンバー全員が現地でのガイドを経験した。

実地研修や本番のガイドを通して、男木島特有の地形や歴史への理解が深まっただけでなく、想定外の質問やトラブルへの対応力も身についた。さらに、メンバー同士で意見を出し合いながら改善を重ねることで、説明の分かりやすさや案内の流れも少しずつ良くなっていった。10月には観光協会の協力のもと、約30名の観光客を案内し、実際の現場での経験を積むことができた。

当初は夏に実施する予定であったが、観光協会からの要望もあり、瀬戸内国際芸術祭終了後に開始時期を変更した。現在は観光協会のホームページやSNSにて申込受付を行っている。



←中国語版

韓国語版→





↑ ガイドツアーHP



↑ ガイド練習の様子

4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

本事業は、男木島における観光支援の充実につながるとともに、本学と地域との関係をより深めるきっかけにもなったと感じている。特に、観光を支える人材不足の補完や、観光客のニーズに合わせた情報発信の改善、ガイドを通じた魅力発信といった点で成果を得ることができた。

また、多言語マップの作成・改善により、観光客が必要な情報を分かりやすく得られる環境が整い、外国人観光客にとっての利便性向上にもつながった。加えて島内外の各所に設置したことで、観光客の動きに合わせた情報提供が可能となり、地域全体で観光客を受け入れる体制づくりの一端を担うことができた。

さらに、ガイドツアーの準備から実施までを通して、観光協会と連携した取り組みの基盤を築くことができた。学生が主体となって地域課題に関わり、実際に行動することで、地域に新たな価値を生み出すひとつの形を示すことができたと考えている。このような経験は、本学の地域貢献活動の意義を高めることにもつながったと感じている。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

本事業に参加したことで、実際の現場での経験を通じた学びを得ることができ、自分たちの成長を強く実感することができた。多言語マップの作成では、情報の正確さだけでなく、誰にでも伝わる分かりやすい表現を考えることの難しさを感じると同時に、その大切さを学ぶことができた。

また、ガイド活動においては、事前準備の重要性に加え、現場での柔軟な対応力や状況に応じた判断力が求められることを実感した。実際には想定していなかった質問を受けたり、その場で対応を考えたりする場面も多く、自分の言葉で説明する力を身につけることができたと感じている。

さらに、準備段階と本番との違いを体験する中で、自分で課題を見つけて改善していく姿勢が自然と身についた。また、地域の歴史や文化を扱うことの責任も実感し、より深く学びたいという意識も高まった。こうした経験は、今後の学業や社会に出た際にも活かせる大きな学びであり、メンバー各々の成長にとって非常に意味のあるものとなった。

6. 反省点・今後の展望（計画）・感想等

本事業を通して多くの成果を得ることができた一方で、いくつかの課題も見えてきた。特に、ガイドツアーの基盤づくりをしていく中で、スケジュール調整や関係者との情報共有の難しさを感じる場面があった。今後は、余裕を持った計画づくりや関係者間での認識の統一、メンバー間での円滑な伝達体制を整えるといった点を心がける必要がある。

また、マップやガイド内容についても、より分かりやすく伝える工夫や、観光客のニーズに合わせた内容の見直しが必要であると感じた。単に情報を載せるだけでなく、どのように伝えるかという点についても、今後さらに工夫していきたい。さらに、ガイドの質の向上にも取り組んでいきたい。イベントなどでの実践の機会も積極的に活用し、経験を積み重ねていきたいと考えている。

今回の活動を通して、地域に「関わる」だけでなく地域の「一員としてともに活動する」ことの大切さを実感した。また、忘れてはいけないのは男木島の島民の方々のご協力があって私たちの活動ができているという点である。今後も継続して地域と関わりながら、常に感謝の気持ちを忘れず、誠実な姿勢で、自分たちにできる形で努めていきたい。

7. 実施メンバー

代表者	木村 萌々花（経済学部2年）		
構成員	緒方 彩七（経済学部3年）	岡野 杏香（経済学部3年）	
	浅居 美行（経済学部3年）	岩田 空弥（経済学部3年）	
	岡本 陽奈（経済学部3年）	河原 宏樹（経済学部3年）	
	桑原 美佑（教育学部3年）	坂越 翔陽（経済学部3年）	
	進賀 堅太（経済学部3年）	滝本 桃果（経済学部3年）	
	武内 みなみ（経済学部3年）	橋本 朔（経済学部3年）	
	古井 駿成（経済学部3年）	前田 透吾（経済学部3年）	
	宮田 知依（経済学部3年）	岩田 煌大（経済学部2年）	
	岩本 展広（経済学部2年）	江原 末祐（経済学部2年）	
	川内 葉月（経済学部2年）	河原 萌愛（経済学部2年）	
	木村 彩音（経済学部2年）	佐々木 香凜（経済学部2年）	
	篠藤 美伶（経済学部2年）	高木 優芽（経済学部2年）	
	藤岡 いずみ（経済学部2年）	牧原 歩美（経済学部2年）	

貫井 奏希 (教育学部 2年)	藤森 翔大 (教育学部 2年)
石原 愛土 (創造工学部 2年)	荒木 晃栄 (経済学部 1年)
石原 煌大 (経済学部 1年)	坂田 真緒 (経済学部 1年)
佐々原 駿介 (経済学部 1年)	高橋 希歩 (経済学部 1年)
多々良 謙太郎 (経済学部 1年)	浜田 悠吾 (経済学部 1年)
松原 嵩真 (経済学部 1年)	安田 拓翔 (経済学部 1年)
山内 勇垂 (経済学部 1年)	横田 光希 (経済学部 1年)
横山 友菜 (経済学部 1年)	大西 麗奈 (法学部 1年)
菊池 咲希 (法学部 1年)	大谷 梨実 (創造工学部 1年)
藤崎 結依 (創造工学部 1年)	

8. 執行経費内訳書

配分予算額		182,998円		
執行経費(品目等)	数量	単価(円)	金額(円)	備考
コピー用紙(500枚)	1	1,097	1,097	
交通費(高松港-男木港)	33	1,020	33,660	
中国語翻訳費	1	22,296	22,296	
韓国語翻訳費	1	22,296	22,296	
マップ印刷代(日本語4800部)	1	19,120	19,120	
マップ印刷代(英語2200部)	1	10,800	10,800	
マップ印刷代(中国語2800部)	1	12,592	12,592	
マップ印刷代(韓国語2800部)	1	12,592	12,592	
マップ内容差し替え作業費(中・韓)	1	40,000	40,000	
合計			174,453	